

求む「国際道場破り」！！ 2014 年度若手研究者国際交流奨励プログラム（国際交流若手賞） への応募のお願い

低温工学・超電導学会では、学生を含む若手研究者（35 歳未満）の国際的コミュニケーション力涵養、人的ネットワーク形成を目的として、若手研究者国際交流奨励プログラム（国際交流若手賞）を実施します。本プログラムでは、若手研究者が単独で海外の大学・研究機関を訪問しセミナー講演ならびに研究討議を行う「国際道場破り」を奨励し、高密度・長時間の講演・討議を通じたコミュニケーション力向上と研究者としての国際的認知度向上（人的ネットワーク形成）を後押しします。ふるってご応募いただきたいと存じます。

本プログラムの内容や応募要領は下記の通りです。

- ・ 応募者は、訪問計画を含む応募書類を提出の上、2014 年度春季研究発表会の講演申込と優良発表賞の評価希望申込も行って頂きます。講演概要は英文で執筆し、口頭発表も英語で行うものとします。発表は、優良発表賞の対象として評価され、評価結果と応募書類に基づいて最大 2 名を選考し、「国際交流若手賞」（副賞 5 万円）を授与します。副賞については、基本的に訪問に要する旅費（国際会議参加旅費に追加で要する旅費）に対する支援という意味がありますが、事務的な扱いについては受賞者とその所属組織に委ねます。くれぐれも国際会議参加自体を目的とする補助金ではないことにご注意下さい。
- ・ 応募者は、自らが探した訪問希望先、または下記のリストから選んだ訪問希望先を応募書類に記載してください。応募段階での事前交渉は不要です。なお訪問にあたっての連絡・調整は、英語による交渉能力涵養の観点から、受賞者自らに行って頂きますが、国際交流委員会委員も相談に応じます。ただし、受入れ担当者は日本人以外とします。受賞後、交渉の結果、応募票に記入した訪問希望先に受け入れてもらえなかった場合は、訪問先を変更してもかまいません。
- ・ 受賞者は、受賞通知日から概ね 1 年の間（ただし 2 年を越えないこと）に、国際会議参加に付加した形などで海外の大学・研究機関を訪問して、セミナー講演を行っていただきます。なお、セミナー講演の様子や訪問先で得られた経験を体験記（必ず日本語とする）の形にまとめ、後日、学会誌上で報告していただきます。
- ・ なお、本プログラムによる旅行中に受賞者が被った病気、事故等について、低温工学・超電導学会は一切の責任を負わないものとします。

募集と選考の手順を以下に示します。応募の際は、必ず学会ウェブサイトの本プログラムの案内から「応募票」の書式をダウンロードしてご使用下さい。

【募集・選考】

1. **応募資格**：2015 年 3 月末の時点で 35 歳未満である低温工学・超電導学会会員
2. **春季研究発表会講演申込と優良発表賞評価申込**：2014 年度春季研究発表会に『口頭発表』を希望し講演申込を行い、併せて『優良発表賞』の評価希望申込も行ってください。申込方法の詳細は、学会ウェブサイトと学会誌 2 号の会告を御覧下さい。
3. **応募書類提出**：2014 年 3 月 24 日までに、以下の通り、応募書類を提出して下さい。
 - （電子メールに添付した電子ファイルの形で提出して頂く応募書類）
 - ・ 応募票（ただし推薦欄への署名は不要）（書式は学会ウェブサイトの本プログラムの案内からダウンロード）
 - ・ 研究経歴を含む履歴書（書式任意）（pdf ファイル）
 - ・ 業績リスト（書式任意）（pdf ファイル）
 - （郵送で提出して頂く応募書類）（当日消印有効）
 - ・ 応募票（上司もしくは指導教員による推薦欄への自筆署名を含むもの）
4. **講演概要提出**：必ず英語で講演概要を作成してください。詳細は、学会ウェブサイトの「講演概要の書き方」（<http://www.csj.or.jp/conference/abstract.html>）を御覧下さい。
5. **口頭発表**：2014 年 5 月 26～28 日開催の春季研究発表会において、応募者は英語で口頭発表を行って下さい。優良発表賞推薦委員が、発表内容を優良発表賞の対象として通常通り評価します。
6. **選考**：研究発表会終了後、国際交流委員会において優良発表賞評価シート及び応募書類をもとに候補者の選考を行います。これをもとに運営委員会にて受賞者を最終決定します。応募者には 6 月初旬までに結果を通知する予定です。なお、通知日をもって受賞日とさせていただきます。

[訪問・報告]

- ・ **訪問、セミナー講演**：(2014年6月～) 受賞者は、海外の大学・研究機関を訪問して、セミナー講演ならびに研究討議を行っていただきます。
- ・ **体験記**：(訪問後1か月以内) 受賞者は、セミナー講演の様子や訪問先で得られた経験を、学会誌掲載原稿の書式に従ってまとめた体験記(日本語)を学会に提出していただきます。

応募書類送付先 (国際交流若手賞応募書類在中と表記のこと)

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-12-8
パレドール本郷 302 号
公益社団法人 低温工学・超電導学会
TEL: 03-3818-4539 FAX: 03-3818-4573
E-mail: LDJ04246@nifty.com

問い合わせ先

国際交流委員会：中本建志 (高エネルギー加速器研究機構) tatsushi.nakamoto@kek.jp

国際交流委員会で提供する訪問先リスト (敬称略)

- ・ Mike Sumption, Ohio State University, USA.
- ・ David Larbalestier, Applied Superconductivity Center / National High Magnetic Field Laboratory, USA.
- ・ Sastry Pamidi, Florida State University, USA.
- ・ Timothy Haugan, Air Force Research Laboratory, USA.
- ・ Qiang Li, Brookhaven National Laboratory, USA.
- ・ Venkat Selvamanickam, Department of Mechanical Engineering, University of Houston, USA.
- ・ Peter Wanderer and Arup Ghosh, Brookhaven National Laboratory, USA.
- ・ Michael Lamm and Emanuela Barzi, Fermi National Accelerator Laboratory, USA.
- ・ GianLuca Sabbi, Daniel Dietderich and Arno Godeke, Lawrence Berkeley National Laboratory, USA.
- ・ Wilfried Goldacker, Karlsruhe Institute of Technology (KIT), Institute for Technical Physics (ITEP), Germany.
- ・ Bernhard Holzapfel, IFW Dresden, Germany.
- ・ Marina Putti, Physics Department, University of Genova and CNR-SPIN, GENOVA, ITALY.
- ・ Antoine Dael and Bertrand BAUDOUY, CEA Saclay, France.
- ・ Luca Bottura and Amalia Ballarino, CERN, Switzerland.
- ・ Tim Coombs, University of Cambridge. U.K.
- ・ David Cardwell, University of Cambridge. U.K.
- ・ Pascal Tixador, Grenoble INP, France.
- ・ Arend Nijhuis, University of Twente, The Netherlands.
- ・ Fodor Gomory, Slovak Academy of Science, Slovakia.